

Title	2018年度『ベスト・プレゼンテーション賞』選考結果
Sub Title	
Author	
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2018
Jtitle	Library and information science No.80 (2018. ) ,p.56- 56
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000080-0056">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000080-0056</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2018年度『ベスト・プレゼンテーション賞』 選考結果

ベスト・プレゼンテーション賞は、研究大会における口頭発表の中から、優れた発表者を選び表彰するものです。

発表者は、口頭発表では、決められた時間の中で、研究の内容を正確に伝え、また、聞き手にわかりやすいよう細部まで行き届いた配慮をし、説明する必要があります。こうしたプレゼンテーションに対する意識を高めること、さらにその技能の向上を目指してこの賞を設けました。

2018年度は、学生・大学院生としての所属を明示した登壇発表者を対象に、研究内容とプレゼンテーション技法の両方の評価に基づき、プログラム委員の合議により受賞者を選出しました。

2018年度ベスト・プレゼンテーション賞受賞者

吉澤小百合君（筑波大学大学院）

発表題目：学校図書館専門職養成制度の構造的な特徴と課題：パワーポリティクスの視点から

研究成果の厚みをうかがわせつつも分かりやすく説明していたこと、個々のスライドの文字数が多いくらいはあるものの、スライド全体は分かりやすく構成されていたこと、および質疑において的確に回答していたことなど、プレゼンテーションの技法と態度において優れていたことなどが評価されました。受賞した発表スライドのPDF版を学会ウェブサイトで公開しています。